

1 幼稚園とは

幼稚園は、幼児が初めて出会う学校、初めての集団生活の場です！

学校教育法において

第一章 総則 第1条

「この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする」とされています。

「遊び」を通してたくさんのことを学んでいます！

「幼稚園では遊んでいるだけでしょう？」「文字や数などの勉強はしないの？」と思われる方が多いかもしれません。「遊び」にはたくさんの教育的価値が含まれており、直接的な体験、様々な感情体験を通して、非認知能力を高め、身に付けたい資質・能力を育む、幼児期に最も適した学び方とされています。



なぜ、幼児期にふさわしい学び方が「遊び」なのでしょう？

生活に必要な能力や態度などの獲得については、大人の話聞いて理解して知識を身に付ける、ということがまだまだ難しい時期です。幼児自身が自発的に環境と関わり、体験的な「遊び」を中心とした生活の中で、自らの生活と関連付けながら、好奇心や必要感をもつことが大切です。また、幼児の心身の諸側面は、それぞれが独立して発達するものではなく、相互に関連し合うことによって発達していきます。

これらを踏まえ、小学校以降のような教科書を使用した授業による教科別の抽象的な学び方ではなく、「遊び」を中心とした生活の中で、直接的、体験的かつ総合的に学ぶことが幼児期に最もふさわしい学び方だと言われています。



充実した「遊び」に向けて

「遊び」は、興味をもった遊びを自分からやってみて、想像力を働かせながら様々なことを感じ、考え、じっくりと試行錯誤し、思いを教師や友達と共有する、その過程を楽しんだり、達成感を味わったり、さらに関心を高めたりする、主体的な「学び」です。幼稚園では、教師が幼児一人一人の興味や関心を丁寧に読み取り、発達に必要な経験を見通して、綿密な指導計画を立てています。そして、計画に基づいて環境や教材、活動を工夫し、適切な援助を行いながら、「遊び」を充実させ、幼児の主体的な「学び」を支えています。私たち教師は、幼児教育の専門家として、園内で研究会を実施したり、園外の研修会や講座等に参加し、日々研鑽を重ねています。